

# 市や地域を愛する子ども議員が問う



第3回大野市子ども議会（8月18日開催）

# おおの 議会だより



福井しあわせ元気国体2018  
福井しあわせ元気大会2018  
第73回 国民体育大会 / 第18回 全国障害者スポーツ大会 織りなそう カと技と美しさ

No.199 平成29年10月25日

▼  
主  
な  
内  
容  
▲  
▲  
▲  
▲  
▲

9月定例会の概要	2ページ
一般質問の概要	3～9ページ
議案等の各議員表決	10ページ
常任委員会審査Q & A	11・12ページ
特別委員会報告	13ページ
委員会視察レポート	13ページ
第3回子ども議会の報告	14ページ

大野市議会では、ホームページでも議会日程や議案等の審議経過及び結果、会議録などの議会情報を掲載しています。ぜひ閲覧してください。



発行：大野市議会  
〒912-8666 福井県大野市天神町1-1  
Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021  
<http://www.city.ono.fukui.jp/>  
編集：議会だより編集委員会

# 9月定例会の概要

第404回定例会市議会は、9月4日から9月21日までの18日間の会期で開催されました。  
 今回の定例会では、平成29年度の一般会計補正予算案、条例の制定、市道路線の認定、人事案件など、全13議案のほか、陳情3件、議員提出の市会案2件について審議しました。審議結果は、10分の9のとおりです。  
 なお、28年度の一般会計・特別会計と水道事業会計の決算議案については、10・11月に審査することにしました。

## 一般会計予算に1億3707万円を追加

平成29年度一般会計当初予算に1億3707万円が追加され、予算の累計額が176億9704万円になりました。前年度同期と比較すると2.1割の減です。主な補正の内容は、下表のとおりです。

### 特別会計補正予算

国民健康保険事業特別会計では、平成28年度の精算に伴う国庫負担金等償還金、介護保険事業特別会計では、税制改正に伴うシステム改修費及び28年度事業費の確定精算に伴う国庫支出金等償還金が増額され、その他の特別会計では、28年度事業の確定に伴う剰余金積立などが主な内容です。

補正のあった主な内容	補正額
★「地域の活性化」「地域活力の持続」に向けた今後の地域づくりについて、住民が主体的に議論を進める地域協議会を各公民館に設置する経費	50万円
★大野市が給水施設整備を支援している東ティモールの高校生を日本に招へいし、水に関する学習活動や市内学校との交流事業を行う経費	607万円
★制度改正による子ども医療費の現物給付に対応するため、システムの改修を行う経費	518万円
★きらめきハウス（県民せいきょう）が行うスプリンクラー整備に対して補助する経費	432万円
★大野市鳥獣害対策協議会が行う有害鳥獣分解処理装置の整備事業等に対して補助する経費	5410万円
★農事組合法人お米ポートが行う田植機及びコンバインの導入に対して補助する経費	813万円
★市内に点在するため池のハザードマップを作成する経費	450万円
★五番商店街旧Fマート解体・整備事業の補助額を増額する経費	910万円
★旧水本学園高等女学校を活用したリノベーション事業に対して補助する経費	1250万円
★化石発掘体験センターの落成式、オープニングイベント等を行う経費 施設の管理運営に必要な経費	848万円
★旧橋本家住宅保存整備事業において、継続費にて平成30年に予定していた一部業務及び工事を前倒しして行う経費	

### その他の主な議案

#### 大野市化石発掘体験センター設置条例の制定

化石を観光資源として活用することにより地域の活性化を図るとともに、学術的に貴重な化石を集めることを目的に、市化石発掘体験センターの設置と、その使用料等について定められました。  
**大野市過疎地域自立促進計画の変更**  
 本年4月1日に本市の過疎の指定区域が和泉地区から市全域へと拡大されたことに伴い、計画が

見直されました。  
**市道路線の認定**  
 国道の廃止に伴い市道として引き継ぐ必要性のある道路を市道に、また市道路線の終点の変更を認定しました。

### 人事案件

#### ▼人権擁護委員候補者の推薦

引き続き大谷恵子氏（右近次郎）を推薦することに同意しました。

### 意見書

次の2つの意見書をそ

れぞれ政府関係機関へ提出しました。  
 ・市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め、都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税の創設を求める意見書  
 ・道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の補助率等の高上げ措置継続を求める意見書

## 市議会を傍聴しましょう

本会議は、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、議会事務局（3階）で受け付けを済ませてから、傍聴席（R階）にお入りください。

次回、12月定例会の予定は次のとおりです。

日程（案）	区分	審議等の内容
11月27日 月	本会議	決算特別委員長報告、質疑、討論、採決、議案上程、提案理由説明
12月4日 月	本会議	一般質問
5日 火	本会議	一般質問、請願・陳情上程
6日 水	委員会	10:00 産経建設常任委員会
7日 木	委員会	10:00 民生環境常任委員会
8日 金	委員会	10:00 総務文教常任委員会
11日 月	委員会	10:00 中部縦貫自動車道等幹線道路整備促進特別委員会
		13:00 人口減少・若者定住対策特別委員会
13日 水	本会議	各委員長報告、質疑、討論、採決

※予定のため変更になる場合があります。  
 ※本会議の開会は、いずれも午前10時を予定していますが、開会前の会議により遅れる場合があります。詳しくは、議会事務局へ問い合わせください。（☎0779-64-4830）

# 国保は社会保障運動の歴史を通じて 医療皆保険制度の一翼を担うのでは



## 国保の県単位化は、市町と県が一体で国保を運営することである

**問** 国民健康保険の県単  
位化については、今まで  
県が市町の国保運営の支  
援者であったが、今後、  
運営主体になることで、  
市町としては知恵を出す  
ことが求められていると  
思う。

**答** 例えば、市が独自で国  
保会計に一般会計から5  
000万円の繰り入れを  
行うことで、一世帯1万  
円の国保税の値下げが実  
現できる。そのことは、  
地域経済の消費支出に影  
響を与える政策にもなる  
のでは。

**答** 1万円の値下げがそ  
のような効果を生むとい  
うことについては、ここ  
ではすぐに答えにくい。  
また保険税の引き下げ  
については、いろいろな  
ことを考慮して決めてい  
かないといけないので、  
今ここで明確に答弁でき  
ない。

保険税が支払能力を超え  
る面もあって、納付が滞  
りが悪いとはいえないの  
ではないか。

**答** 資格証明書について  
は、できるだけ市として  
も発行は控えたいと考  
えている。そのため、年4  
回の相談日を設けて、国  
保税の納付について、理  
解いただくように努めて  
いる。

**問** 関連して、短期保険  
証の発行の繰り返しでは、  
解決ができない。滞納金  
ができると、それが全て  
解消するまで短期保険証  
というのでは、被保険者  
を追い詰めることになる  
のではないか。

**答** 滞納額が高額になる  
場合、短期保険証の繰り  
返しでは解決できないの  
で、生活困窮者自立支援  
法を適用するなど、連携  
して取り組むことが必要  
であると考える。

日本共産党大野市議団

栄 さかえ

正夫 まさお  
議員

# 学生の段階から恋愛や結婚に対する 意識を高める取り組みは



## 今年度から、各中学校を回り結婚や出産等について講義を行う

**問** 大野市子ども・子育  
て支援事業計画の中に結  
婚に向けた支援の充実と  
して、若者の恋愛や結婚  
に対する意識を高めるた  
め、学生の段階から取り  
組みとあるが、具体的に  
は。



麻那姫まつり「よさこい」

**答** 若いこ  
ろから結婚  
について考  
える機会を  
設け、また  
思春期から  
将来に向け  
て体づくり  
をする必要  
性も考え、  
今年度から中学生を対象  
として、体づくりという  
ことで、各中学校を回り、  
結婚、出産等や、人生設  
計について講義を行う予  
定をしている。

直しを行わないのか。  
**答** 本年は計画の中間年  
に当たることから、必要  
な部分について見直しを  
行う予定としている。  
また来年度には、次期  
計画の策定に向けてアン  
ケートを実施し、市民ニ  
ーズを把握して計画に反  
映していく。

**問** 保育従事者の人材状  
況は。

**答** 近年、より多くの保  
育士の配置を必要とする  
低年齢児の入所希望が増  
加しており、保育士数に  
余裕がないため、常に保  
育士を募集しているが、応  
募は少ない状況である。  
民間の保育所等への施  
設運営費に、処遇改善に  
係る経費を加算するなど、  
保育士の処遇改善に努め  
ている。なお保育従事者  
のうち、女性は99.5割、  
定年後の再雇用などを含  
めた60歳以上の従事者は  
11割である。

無会派

堀田 ほりた

昭一 しょういち  
議員

一般質問

# 来年の全国障害者スポーツ大会に備え、手話言語条例を制定すべきだが

全国101自治体で制定されているが、本市では制定予定は無い



誠和会・公明党

宮澤 みやざわ

秀樹 ひでき 議員

**問** 市街地での火災対策は。また災害時のペットの対処方法は。

**答** 今後進む高齢化を踏まえ、避難体制の確保などがますます重要化するため、平時から災害対応について、住民への周知や要支援者への対応を含めた実践的な訓練など、事前対策を充実する。火災では、消火活動が長時間に及ぶことも懸念され、河川等の自然水利からの大量送水も考慮し、消防水利を確保するため、計画的に防火水槽の整備を進める。

**問** 市街地での火災対策は。また災害時のペットの対処方法は。

また国においてペットの対策がガイドライン化され、飼い主は原則避難時にはペットを連れて避難することとしており、市では、避難所運営マニュアルでペットの飼育についてルール化している。

**問** 障害者差別解消法における差別を解消するための法的義務、努力義務

**答** 法では、行政機関や民間事業者に障害を理由とする不当な差別的扱いの禁止と合理的配慮の提供を義務付けている。障害のある人から何らかの配慮を求められた場合は、負担が過重にならない範囲で困難な状況を解決するための工夫等を行うこととされる。障害や障害のある人に対する市民の理解を深めることが重要であり、市では障害を理由とする差別の解消や権利擁護の推進に積極的に取り組んでいく。

また手話言語条例の制定は現在予定していないが、福井しあわせ元気大会の聴覚障害者のバレーボール大会に合わせ、平成26年度以降、手話や要約筆記の普及に積極的に取り組んでいる。

一般質問

# 北朝鮮からのミサイル飛来への備えは

全国瞬時警報システム（Jアラート）の受信機及び防災行政無線への自動起動装置を導入済みである



天空おおの

高田 たかだ

育昌 やすまさ 議員

**問** Jアラートとは、どういうシステムか。

**答** 総務省消防庁が整備した全国瞬時警報システムの通称で、大規模災害や武力攻撃事態が発生した際に、国から送信された緊急情報が、防災行政無線等を通じて住民に伝達されるシステムである。

**問** Jアラート発令時の対応は。

**答** 本県の場合、関東・中部・近畿にミサイルが飛来する可能性がある場合にJアラートが送信される。この場合、大野市国民保護計画に基づき、住民の保護措置を的確かつ迅速に実施する。なお、サイレン音は自然災害時とは異なる。

**問** 避難後の情報（解除も含む）はどういった方法で知り得るのか。

**答** 防災行政無線や携帯

電話によることとなる。現在、本市の防災メール登録は約850件である。解除については、国からは、まだ示されていない。

**問** スポーツ少年団の現状は。

**答** 団員数は、みんスポーツクラブが95人、ミニバスケットボールが9団で130人、野球が6団で94人、サッカーが3団で71人、バドミントンが3団で52人、バレーボールが4団で41人である。団員数は、平成19年度の685人をピークに、本年度は120人減少している。

**問** スポーツ少年団に期待したり、求めることは。

**答** 子どもたちが、さまざまなスポーツに関わっていくことで、得意とする競技を体験することとなり、将来、国体やオリンピックに出場する選手の発掘になるよう進めていきたい。

# 先行再編や学区の見直しについて どのような対応をとられるのか



## 再編の要望に適切に答えていきたい

**問** 小中学校再編に関する説明の中で、子どもたちにもどんな良い影響が与えられるか等の説明が不足していたと思う。また多くの市民の方から不安視された点については、もう少し丁寧な説明があってもよかったです。思うが、協議会を立ち上げていく中で、どのような対応をされるのか。

**答** 市民の方々にまだまだ理解していただけないと実感している。私たちがしっかりと再編の必要性等々に訴える部分が欠けていたのかとは思いますが、再編計画の中には、再編する意味や必要性、そしてこういった学校にしたいという気持ちはしっかりと込めたつもりである。

これから開いていきたいと思います。考えている推進協議会でも、精一杯そういったことの説明やスクールバス等々の具体的な説明も協議をしていきたいと考えている。

**問** 市全域が過疎地域に指定されたことによる本市への影響について聞きたい。

**答** 過疎地域に指定されたことで、市が定める過疎地域自立促進計画に基づく事業であれば、過疎対策事業債という財政上有利な支援措置を受けることができる。さらに国の補助率のかさ上げや、県が代行整備する道路事業で県工事負担金が免除されるなどの優遇措置もある。

今回の指定を一つの契機として、市民の皆さまに自らの地域の課題や地域で主体的に行うべき取り組みについて話し合っていたり、人口減少下であっても活力ある地域を維持することにつながっていききたい。

清風会

ひろた

憲徳 議員

# 県道皿谷大野線の整備は急務でないか



## 早期事業化実現を引き続き強く要望していききたい

**問** 国道157号バイパスの中保地係から皿谷大野線の中挟交差点までの区間の整備状況と、今後の市の対応は。

**答** 道路は、経済成長を支える最も重要な社会基盤であり、これまで中部縦貫自動車道とともに市内の幹線道路網の整備に尽力してきた。今後、整備を進めなければならぬ路線は、国道157号大野バイパスの中保地係から、県道皿谷大野線の交差点である北陸電力株式会社大野電力部西側の中挟交差点までの、都市計画道路中保中野大橋線である。平成10年に、延長約910メートル、幅員18メートル、両側歩道付きの2車線で都市計画決定している。

本道路は、中部縦貫自動車道大野インターから国道157号大野バイパスを経由し、来訪者を中心市街地へスムーズに誘導するアクセス道路として、また市民の通勤利用や広域的な救急医療体制充実のための重要な幹線道路である。本道路により、本市の幹線道路網の整備がおおむね完了する。一般県道皿谷大野線の道路改良事業として、26年度から重点要望として県での整備をお願いしており、今年も8月に直接知事に要望を行った。県では、昨年度に本道路整備後の将来交通量推計調査を行った。本年度は、中部縦貫自動車道永平寺大野道路の全線開通後の国道157号バイパスや現在の県道皿谷大野線の現況交通量調査と計画道路の検証を行い、8月には道路予備設計業務を発注したと聞いている。市としては、早期に事業化が実現するよう引き続き県に強く要望していききたい。

新生おおの

かわばた

義秀 議員

一般質問

# 行財政改革と地方創生の取り組みと成果は



## 人口ビジョンと総合戦略を策定し、地方創生に係る事業を加速している

天空おおの

たかおか  
**高岡**

かずゆき  
**和行** 議員

**問** 市長の政治姿勢について、「行財政改革と地方創生について取り組み及びその成果」をお聞きたい。

**答** 第五次大野市総合計画後期基本計画との整合性を保ち、大野市人口ビジョンと総合戦略を策定し、地方創生に係る事業を加速している。

さまざまな行政課題が山積している中、健全な行財政の推進が極めて重要と考える。依存財源比率が高く自主財源が伸びない中、健全財政を図る。

**問** 具体的に自主財源の伸びはどうか。

**答** 今年度は35・4割、昨年度は35割である。

**問** 分母が小さくなっていくから、パーセントが同じでは減少している。ここ10年間で人口が5000人ほど減少しているが、市職員数はどうか。

**答** 平成19年は419人、29年は380人である。

**問** 人件費削減という中で正職員・現業職・嘱託・臨時を入れると613人になるのはなぜか。(時間の関係で答弁を求めず)

**問** 「水・水事業」について、湧水文化再生、地下水かん養、上水道・下水道等の事業についての思いはどうか。

**答** 大野の生活の一部であり、守り育ててきた湧水文化が各方面から注目を集め、今では自慢の宝となった。

**問** 下水道事業での工事見直しはどうか。

**答** 適宜行って工事を進めている。

**問** 補助金を出して敷設した合併浄化槽へ下水道がきても非接続があるがどうか。

**答** 念書を取って対応している。

一般質問

# 安全安心な図書館運営を図るため、書籍消毒機を導入しては



## 県内の状況を調査し、検討したい

誠和会・公明党

とうどう  
**藤堂**

かつよし  
**勝義** 議員

**問** 図書館の利用状況等

**答** 図書館の蔵書数は、平成28年度末で、19万6802冊、貸出冊数は、28年度で12万4442冊、貸出実人数は3763人、入館者数は10万3691人、開館日数は286日となっている。

**問** 蔵書の破損や事故状況は。

**答** 全国で発生した学校史などの切り取り事件は、調査の結果、本市では事例はない。ただ、故意でないものの破損や汚れた状態で返却される事例が年に数回ある。

**問** 利用者の感染症に対する不安を取り除くため、また安全安心な図書館運営を図るため、書籍消毒機の導入は。

**答** 消毒機は、多数の人が利用する図書館の本を安心して利用していただ

くための衛生機器で、本に紫外線を当てることで本の表面を殺菌し、同時に、風で本の中に挟まっているごみを取り除くものである。

市では、貸し出された本が戻った際、本の表面を消毒用アルコールで拭き、本に挟み込まれているごみを取り除き衛生面に対処している。

消毒機の導入については、県立図書館など県内の図書館の状況などを調査し、今後検討していきたいと考えている。

**問** 全国住みよさランキングをどのように評価しているか。

**答** 平成29年のランキングが本年6月に公表され、本市は全体で206位、特に快適度が全国722位と下位のため、これを上げることが効果的と考えている。

# 市全体が過疎地域になったことに対して、市長の所見は



過疎地域の指定を前向きに捉え、有効な支援策も活用し  
地方創生・人口減少対策のさらなる推進を図る

天空おおの

まつた

もとえ  
議員

- 問** J Aと農林楽舎、平成大野屋が販売強化のため共同プロジェクトを立ち上げ、新たな活力を形成してはどうか。
- 答** これまで以上に情報交換を行い、各主体が農業所得の向上に向けた取り組みを効果的に進めることが必要である。
- 問** 集落と農業は密接な関係であるが、環境調和型農業の成果が伴っていないのでは。
- 答** J Aとともに大野米が少し高く売れるように取り組む。また付加価値の高い農産物で収入を上げられる方向を見据えて、国に大規模、中規模農家を支えていただき、市は小規模農家を支えていく。
- 問** 親の実家での同居や近居、孫ターンについて、子育て世代を狙った企画の充実が図れないか。
- 答** 市外からの転入者が定住する場合や、3世代以上の世帯の同居、新婚夫婦やUターン者を含む2世代以上が同居する場合は、住宅の新築や中古住宅の購入、増改築などに対して、本年度から増額して助成している。
- 問** 小中学校再編は、3月定例会で事実上計画に待ったがかかったが、新聞紙上で最良最善の計画であり今後も進めると言及し、予算の減額修正に對しての首長のコメントが無いのは、議会軽視であり市民に対してはいかがなものか。
- 答** おっしゃることも分かるが、陳情等は、議会がその意思をくんで判断し、小中学校整備基本構想策定事業費を減額修正されたを受け止めている。こうするべきだという附帯決議でもあったら考える余地もあるうと思ひ、議会としての対案をお願いしたい。

# 準要保護世帯への 入学準備金の入学前支給と増額が必要



入学前支給の課題と増額について検討する

- 問** 準要保護世帯への入学準備金の支給は、入学前の必要な時期に支給するべき。また支給額が小中学校2万4700円、中学校2万3550円で、実際に入学に必要な額との差額分を準要保護世帯の保護者が負担できるのか。
- 答** 入学前支給についての課題を検討する。支給額については、国の要保護児童生徒援助費補助金交付要綱等の一部改正により、小学校4万6000円、中学校4万7400円に改訂されており、これを参考に検討していく。
- 問** 学校給食費の一部を助成したらどうか。例えば第2子は2分の1、第3子以上は無料とする施策を行ったときの費用は。
- 答** 1人当たりの学校給食費を年間6万円として、仮にそのような助成をするとなると1年間で、約2700万円の費用が必要となる。
- 問** 準要となる。
- 問** 小中学校再編による教職員の削減をどう考えるのか。
- 答** 再編をすると、教職員は減るが、再編によって、教職員定数に応じた教職員が配置されることになる。削減のために、再編するのではない。
- 問** 国民健康保険税の均等割で、収入のない子どもは軽減を。
- 答** 資産割については固定資産税と合わせて二重の負担になるので、所得の低い世帯の税額の軽減を。
- 問** 子どもの均等割の軽減は、将来的な検討課題として位置付けされている。国の検討状況を見守っていく。
- 答** 資産割は国民健康保険に必要な費用に充てる目的で課税するもので、二重課税と判断されるものではなく、軽減については、現在考えていない。

日本共産党大野市議員団

のむら

まさと  
議員

一般質問

# 「市民の絆の形成」等の経費は

3年間で2億4,650万円+29年度予算8,680万円



天空おおの  
かねい  
兼井

まさる  
大議員

**問** 3年間の期限を迎える電通との協定で行われた情報発信、ホームページ等のコンテンツの創造、市民の絆の形成、誇りを取り戻すための事業の経費は。

**答** 平成26年度は、天空の城越前大野城サイト、移住定住サイト、オオノグラシの制作で約1450万円。27年度は、大野ポスター展の実施、大野へかえろう楽曲の制作、キャリアングウオータープロジェクトなどのサイトの制作、市ホームページのリニューアルの設計、報道機関への情報発信で約1億690万円。28年度は、市ホームページの改装、副読本水の本の企画とデザイン制作、大野ポスター展の実施、写真集大野へかえろうの制作、新聞や雑誌への記事掲載で約1億2510万円。29年度は、キャリアングウオーター事業で約691

0万円、大野へかえろう事業で約1480万円、ブランドサイト事業で約290万円。

**問** PR・広報経費として妥当な額と捉えているか。

**答** 電通のようなノウハウ、ネットワークを持つ会社と一緒にやるという面においては妥当。低廉な価格でやらせていただき、効果は十分出ている。

**問** 広告代理店の仕事としては、120割の出来の成果物。ただ期待したのは、地域の稼ぐ力が向上する取り組みについて発注しているものと思っていた。大きな広告代理店にしてみれば、この金額ではとてもできない事業だが、市には大きな金額である。どちらの立場で考えているのか疑問に思う。3年間の契約が済むが、今後どうなるか。

**答** これまでの成果等をよく検証し、考えていく。

一般質問

# 下水道工事による御清水周辺の地下水への影響は

地下水に注意を払い、事業を推進していく



天空おおの  
うめばやし  
梅林

あつこ  
厚子 議員

**問** 下水道工事による御清水周辺の水への影響は。

**答** 地下水水位が高い状況を踏まえ、マンホールポンプや宅内用排水ポンプを活用し、下水道管の埋設を浅くする。必要に応じて地下水の対策を検討。住民の生活用水である地下水に影響を及ぼさないよう注意を払い、緊急時に対応できるよう万全の体制を整え、観光面に配慮しながら整備を進める。

**問** 下水道工事をするに当たって、どのような工法で行うのか。

**答** 地下水水位が高いので個人の公共ますに宅内用ポンプを設置し、下水道管を地下水よりも上の方に上げる。ウエルポイント工法ではなく、釜場工法で地下水をくみ揚げる。

**問** 近隣の地下水が出にくくなることはないのか。

**答** 今後詳細設計の中で詰めていく。万が一の場合

合、上水道からの給水を考えていく。

**問** 水が濁ることは。

**答** 一時的な地下水の濁りは発生すると思うが、十分調査、試掘等で目視も行い、今後の設計に組む。

**問** 安全であることをいづごろ住民に説明するのか。

**答** 約150ヶ所に管が入り、個人の自家井戸は10ヶ位で水質を侵すことはないが、十分注意を払っていく。

**問** この地域は合併浄化槽ではないけないのか。

**答** 最善の方法として宅内排水ポンプを活用した工法が一番望ましい。

**問** この地域で将来的に復活できる湧水池が工事によって水脈が変わり、駄目になることはないのか。

**答** 直接地下水を低下させることはない。



# 第2恐竜博物館（仮称）等の建設計画はいつごろでき、わが市の考えはどうだったのか

## 平成27年3月に知事のマニフェストに明記され、昨年8月に要望した

天空おのおの

畑中 はたなか

章男 あきお 議員

**問** 和泉地区では勝山の化石より古いものが採れていて、大野の方が先駆地であるのに勝山にお株を奪われている。勝山の恐竜博物館には100万人の来客があるが、二つ目を勝山に造っても200万人は来ない。東の玄関口の東野の方が県としても費用対効果がある。

**答** 政治は結果責任ということを考えると、その時代に生き、政治に携わった者が本市に建設計画を持っていけばよかったと考えるが、今後努力をしていくので応援をいただきたい。

**問** 化石発掘体験施設が和泉地区に間もなく完成するが、使用料金が高く、近隣の同様施設より集客が悪くなり、建物有りきと心配するが、低減できないのか。またレプリカ作製やクリーニングはできるのか。

**答** レプリカについては作っていくこととお願いしたい。またクリーニングは和泉資料館で行っている。使用料金については条例案のとおりとしたいが、いろんな割引策を検討していきたい。

**問** 有害鳥獣対策事業として今議会に5400万円の補正予算が計上されているが、設置に至った理由や場所、運営主体と処理フローについて説明を求めます。

**答** 森林組合が以前稼働していたパーク炭工場の一部を借り受け、協議会が市の補助を受けて処理装置を整備する。おがくずと水を入れた装置に鳥獣をそのまま入れ、熱を加えてかくはんすると、微生物で分解する。過去3年間で1200万円の被害が出ている中で、これまでの関係者の労苦を軽減できる。

一般質問

## 議会用語の Q&A

議会ですられる言葉は、生活の中では馴染みの薄いものが数多くあります。今回、皆さんに議会でのやりとりをより分かっていただくために、一部の用語解説をいたします。

### Q 議案とは

**A** 議会の議決を要する案件のことです。議案には市長が提出するもの、議員が提出するもの、そして委員会が提出するものがあります。条例を設け又は改正・廃止すること、予算を定めること、決算を認定することのほかに意見書・決議などがあります。

### Q 請願・陳情とは

**A** 市民の皆さんが希望を議会に願い出ること、文書により提出していただくこととなります。請願の場合は議員の紹介（1人以上）が必要です。

### Q 一般質問とは

**A** 市政全般における諸問題について、市長の考えを問う質問をいいます。

### Q 討論とは

**A** 議案などについて、賛成・反対の意見をたたかわすことをいいます。通常は賛成と反対を交互に行いますが、いずれか一方の場合もあります。

### Q 意見書とは

**A** 市民の皆さんの生活に直接関わることで、国や県などの仕事の場合は、市だけでは解決できません。そのようなことに関して、議会の意思を意見としてまとめたものをいいます。意見書は地方自治法に基づき、国や県などに提出します。

### Q 採決とは

**A** 議長が議案に対する賛否を議員に問い、可決や否決など、議会の態度を決定する行為をいいます。

# 平成29年9月第404回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）	議決結果	堀	野	廣	高	山	松	永	梅	川	宮	藤	松	高	島	兼	畑	砂	榮	
				田	村	田	田	崎	田	田	林	端	澤	堂	原	岡	口	井	中	子	正	
				昭	勝	憲	育	利	元	正	厚	義	秀	勝	啓	敏	大	章	三	夫		
				一	人	徳	昌	昭	榮	幸	子	秀	樹	義	治	行	榮	大	男	郎	正	
市長 提出 議案	40	平成29年度大野市一般会計補正予算（第3号）案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	41	平成29年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	42	平成29年度大野市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	43	平成29年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	44	平成29年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	45	平成29年度大野市下水道事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	46	大野市化石発掘体験センター設置条例案	可決	○	○	○	×	/	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○
	47	大野市過疎地域自立促進計画の変更について	可決	○	×	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	48	市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	49	専決処分の承認を求めることについて（平成29年度大野市一般会計補正予算（第2号））	承認	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	50	平成28年度大野市歳入歳出決算認定について	継続審査	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	51	平成28年度大野市水道事業会計の決算認定について	継続審査	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市会案	2	森林環境税の創設に関する意見書案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	3	道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の補助率等の嵩上げ措置継続を求める意見書案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	6	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	趣旨採択	趣	趣	趣	趣	/	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣
	7	フリーゲージトレイン導入が困難な中、特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続を求める意見書採択のための陳情書	不採択	否	賛	否	否	/	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	賛	賛
	8	農業振興に関する陳情書	採択	賛	賛	賛	退	/	退	賛	退	賛	賛	賛	賛	退	賛	退	退	賛	賛	賛

（議長（山崎利昭氏）は採決に加わらないので「/」で表示）

議案に賛成○、反対×

陳情の願意に賛成「賛」、願意の趣旨又は一部に賛成「趣」、願意を否とする場合「否」、退場は「退」と表示

# 常任委員会審査

## Q & A

### ▽産経建設

(廣田委員長、川端副委員長、堀田、宮澤、高岡、畑中)



大野市化石発掘体験センター  
(愛称 HOROSSAI!)

学校の遠足の団体割引後に対するさらなる減免を検討したい。

さらに和泉郷土資料館、平成の湯、うらら館などの他施設との共通割引や、県立恐竜博物館と連携した割引制度を協議、検討して、一層の誘客に努めたい。

### 大野市通学路交通安全プログラムについて

#### ◎委員からの意見

通学路の交通安全を確保するため、関係機関が連携した継続的な取り組みが行えるようにするもので、本年度は8月に関係機関による通学路合同点検を実施したとのことであるが、危険箇所は、冬季間になると変わるの安全点検も行い、一層の安全確保に努めていただきたい。

**A** 使用料金は、条例案のとおりとしたいが、特定日の減免や越美北線利用者への減免、市内小中

**重点道の駅(仮称)結の故郷」について**

**Q** 施設配置図については、これまでも幾度か変更の説明があった。今回、本年4月に施設の指定管理予定者が決まり、その管理・運営方法やコスト縮減を図るための理由など、また変更が生じたことであるが、市民へは変更の周知をしているのか。

**A** 今後、変更はあまり想定していないが、もし変更になることがあれば、そのタイミングで報告していきたい。

#### ◎委員からの意見

当初の施設配置図は、たくさんの方々による協議を経て作成したものである。それを変更するというのだから、各地区の区長会など、関係団体等に出向き、変更についての経緯や理由などの説明を丁寧に行い、理解を求めていただきたい。

併せて、道の駅の供用開始後における、地場産野菜等の直売所などへの協力をお願いし、供用開始後の道の駅への誘客に結び付けていただきたい。

**産業団地への企業誘致について**

#### ◎委員からの意見

産業団地の整備に向け、既に実施設計業務を発注し、企業誘致活動も並行して進めているとのことであるが、ITやロボットといった高学歴の若者に魅力がある業種の企業に対して、今回、整備する産業団地の情報を発信するなど、積極的な企業誘致を進めていただきたい。

### 鳥獣害のない里づくり推進事業について

#### ◎委員からの意見

大野市鳥獣害対策協議会が行う有害鳥獣分解除理装置の整備事業等に対しての補助について、装置の保証期間などを確認しているのか。

**A** メーカーと、協議を行うようにしたい。

#### ◎委員からの意見

装置の売買契約を締結するに当たっては、保証期間の保守の範囲と費用負担区分、耐用年数は何年で、それは、どのような使用状況での年数か、緊急時の対応と費用負担

### ▽民生環境

(兼井委員長、梅林副委員長、野村、永田、松原、砂子)

### 公共下水道への加入促進について

公共下水道への加入率向上のための方策はあるのか。

**A** 戸別訪問などにより直接市民と話をし、水の大切さや、下水道の必



昨年10月に開催された下水道教室の様子

など、細部にわたり、しっかりと契約書や仕様書の中に明記し、後年度の費用負担が適正になるように、指導していただきたい。

#### ◎委員からの意見

公共下水道は、河川などの公共用水域の水質保全という大切な役割も担っている。

市民の方に環境保全という側面からも理解を求め、引き続き公共下水道への加入促進に努められたい。

### 国民健康保険制度改革について

#### ◎現在の状況は。

各市町が県に納付することとなる納付金額及び標準保険料率の試算結果、並びに標準的な保険料算定方式などを定める福井県国民健康保険運営方針の中間案が県から示された。

県が11月に仮算定する平成30年度の標準保険料は、医療給付費等の変動により、今回示された試算結果とは、大きく変わる可能性もある。

#### ◎委員からの意見

当委員会としても、今後の動向を注視していく。

## 子どもの貧困について

**Q** 本市の子どもの貧困の現状はどうなっているのか。また調査は、行わないのか。

**A** 貧困の現状について、窓口での相談などでは、緊急に対応を求められるような事案は、特に生じていない。

調査の実施については、「大野市子ども・子育て支援事業計画」の次期計画の策定に当たり、来年度以降に、子どもの実情の把握に努めたい。

## 本市の結婚相談について

**Q** 市内で婚活支援活動を行っている婦人福祉協議会への相談件数などの実績はどうか。

**A** 平成27年度は、相談件数は54件、お見合い設定件数は11件、成婚はゼロ件であった。

28年度は、他のものを含めて、相談は175件、お見合い設定件数は5件で、うち3件の成立があった。

## ◎委員からの意見

婦人福祉協議会には、大変ご尽力いただいでい

る。

男女の貴重な出会いが、着実に結婚に結び付くように、全国の事例など、情報収集に努め、さらに検討を進められたい。

## 産急車導入の検討について

**Q** 妊婦専用の救急車導入についての現在の検討状況はどうなっているのか。

**A** 消防本部と協議を重ねた結果、陣痛とは異なる激しい腹痛時の異常時や、家族の不在時もしくはタクシー利用が困難な深夜帯で緊急を要する場合には、救急車が利用できることとし、その旨を記載したチラシを、母子手帳の交付の際に配布している。

**Q** 今後の導入や運用の予定は。

**A** 平成30年に運用開始する他自治体の状況について情報収集するとともに、消防本部とも情報共有しながら、検討していきたい。

当面は、現状のままでの対応としたい。

## ▽総務文教

(松田委員長、高田副委員長  
山崎、藤堂、島口、榮)

## 消防団活動

### ◎委員からの意見

7月に開催された県消防操法大会における、市消防団第三分団の小型ポンプ操法の部での準優勝、第七分団のポンプ車操法の部での優勝という輝かしい成績は、早朝より日々の訓練に励んだ結果のたまものである。

消防団活動はボランティア



福井県消防操法大会

イアであり、当委員会としても、消防団活動への積極的な支援を今後とも行っていきたい。

## 旧橋本住宅の保存整備

**Q** 雪害に遭った旧橋本住宅は、現況のままでは冬は乗り切れないが、冬の雪対策はあるのか。

**A** 今回の補正予算が認められれば、仮屋根工事が施工できるので、冬も大丈夫であると考えている。

## 防災メール

**Q** 市防災メール配信の登録者数はどれくらいか。

**A** 市内登録者数は850件で、同規模の人口の県内他市の2000件や8000件ほどの登録と比べてまだまだ少ない状況であり、登録について広報等を行っているが、登録者数は伸び悩んでいる。

## ◎委員からの主な意見

災害情報は市民の生命にも関わることであり、今後とも啓発に力を入れて、登録者数を増やすとともに、特に聴覚に障害のある方に対しては、一

層の呼び掛けをしていただきたい。

## 小中学校再編に関する5件の要望書

**Q** それぞれの要望書に対する考え方は。

**A** 本年1月に策定した小中学校再編計画は、本市の将来を担う児童・生徒のよりよい教育環境を目指し最良の計画と考えている。

要望のあった地区に対しては、最初に区長会を窓口として話に入ってきた。

また経過について回答が求められているものについては、出向いて説明を行いたい。

## ◎委員からの主な意見

要望のあった地区に対しては、今後の再編を見据えた中で、地区の意見を聞き、話し合いを進めていきたい。

またそれぞれの地区に入るに当たっては、性急で一方的な説明をするのではなく、膝を交えての話し合いをはじめとして、丁寧な対応を求める。

## ●インターネット放映

本会議の様様をインターネットで録画配信しています。大野市のホームページからアクセスできますので、ぜひご覧ください。

ただし、閲覧の前には、免責事項をよくお読みいただきますようお願いいたします。

## ●委員会も傍聴できます！

常任及び特別委員会は申し出により傍聴することができます。傍聴の申し出は、議会開会日から受け付けますので、議会事務局まで申し出ください。なお、入室できる人数に限りがあるため、先着順で受け付けを締め切らせていただく場合があります。

申し出書に自署された場合、押印は不要です。

詳しくは、議会事務局へ問い合わせてください。(☎0779-64-4830)

# 特別委員会 報告

## ▼中部縦貫自動車道等 幹線道路整備促進

(島口委員長、藤堂副委員長)

廣田、高田、川端、高岡、  
畑中、榮)

## 中部縦貫自動車道



荒島第一トンネル下唯野地区工事

大野東・和泉区間では、(仮称)荒島第一トンネルの本格的な掘削工事に向け、下唯野側の抗口付け工事や、蕨生、下唯野地区における改良工事、猿ヶ谷橋の下部工事、下山の九頭竜川橋の下部工事などが進められている。年度内には、(仮称)荒

島第二トンネルや、(仮称)下山トンネルの工事に着手することのこと。

予算については、平成34年度の県内全線開通に向けて、今後、年間約200億円が必要となる。

これに関し、当委員会は、29年度までの時限措置となっている道路財特法に基づく補助率等のかさ上げ措置について、その継続を求める意見書案を、市会案として提出することとした。

## 大野市重点道の駅

### 【(仮称)結の故郷】

現在、開発行為や事業認定などの法令に基づく手続きや、指定管理予定者と連携し、施設の企画・管理運営方法の検討や実施設計を進めている。

### ◎委員からの主な意見

①道の駅へは、大野東インターチェンジをいったん降りなければならぬことを考えると、わくわく感があり、魅力的な道の駅でないといち寄ってはくれない。

②市内への回遊性を高める有効な仕組みを明確にする。

③当道の駅の活用等については、全庁体制で知恵を絞り、供用開始後の運営も視野に入れて協議し、当道の駅のさらなる魅力向上に努められたい。

## ▼人口減少・若者定住対策

(松原委員長、堀田副委員長、野村、松田、永田、梅林、宮澤、兼井)

大野市総合戦略の四つの柱のうち、3番目の柱の「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」に関連する事業について説明を受けた。

### ◎委員からの主な意見

・婚活力ステップアップ事業では、独身者に対する婚活セミナーや、関西圏や県内女性と市内男性とが会合イベントを開催し、昨年度は、出会いイベントで10組のカップルが誕生し、一組が結婚に結び付いたとのこと。

毎年、相当の予算を掛けて実施しているが、成婚件数が少なく、費用対効果が薄いように見受けられるので、参加者に対してアンケートを実施したり、少ない経費で効果

を挙げている他の自治体の研究なども行い、成果を挙げられるように工夫をされたい。

・特定不妊治療費助成事業では、昨年度は、26組の56件に対して助成を行い、うち7人の方が懐妊されたとのこと。

不妊治療は、早期に対処することで、成功率も上がってくるが、医師の関係で県外まで何度も足を運ばなければならず、患者にとって相当の自己負担が掛かっていると聞き及んでいる。

当事業については、ある程度の成果も挙がっているように見受けられるので、なお一層の効果を上げるためにも、不妊に悩む方々に対して、早期に相談に来ていただくような啓発を行うとともに、助成内容の充実について、今後検討いただきたい。

## 要望活動

中部縦貫自動車道等幹線道路整備促進特別委員会が、7月6日・7日、

## 委員会 視察レポート

### ▼議会だより編集委員会

7月19日・20日に、研修を実施しました。

研修では、議会だよりの編集方法や紙面レイアウトの工夫点などについて、兵庫県丹波市と養父市を訪れ、研修しました。

丹波市では「親しみやすい紙面づくり」を基本コンセプトとして、効果的に写真やイラストが配置されており、無理に文字を詰め込まず、ホワイトスペースを有効に取り入れるなど、読みやすい紙面となっています。また、特に高校生などの若者に読んでもらえるよう、市内に24カ所ある全てのコンビニエンスストアに



丹波市での研修

議会だよりを置いてもらい、読者層の広がりにも努めていました。

養父市では、議会だよりを読んでもらうために、写真や見出しなどを有効に使用して手に取りたくなくなる表紙にする、人を多く登場させる、市民が求める情報を載せるなどといったことを心掛けて編集しているとのことでした。

実際、表紙の写真に公募の写真を用いたり、「市民の窓」というコーナーを設けて、小中学生や移住してきた方などに原稿を執筆してもらったりしているとのこと、読んでもらうための工夫を感じました。

# 第3回大野市子ども議会を開催!

## 小学生の提案や質問に対し、市長、副市長、教育長が答弁

第3回目となる大野市子ども議会を8月18日に開催しました。市内10小学校から1人ずつの子ども議員が選出され、実施。正副議長、会議録署名議員、市民憲章と教育理念の首唱者を決定し、実際の議会と同じ運営を体験してもらいました。

また、全ての子ども議員が、市の行政に対し、疑問に感じていることや市の将来などについて、大人顔負けの質問や提案を行い、市長、副市長、そして教育長が真剣に答弁を行いました。

なお、市議会議長をはじめとする全議員がオブザーバーという立場で参加し、子ども議会の様子を見守りました。



議長 井上 鈴菜さん  
(有終西)



副議長 石神 にこさん  
(上庄)



山腰 祈愛さん  
(阪谷)



吉村美絵子さん  
(富田)



吉川ほのかさん  
(乾側)



木下 蓮士さん  
(有終東)



明石 七星さん  
(下庄)



服部 詩花さん  
(小山)



山崎 誠真さん  
(和泉)



廣作 知優さん  
(有終南)

子ども議員の質問内容は、学校生活や通学において日頃感じている身近な疑問点のほか、福井しあわせ元気国体・元気大会に向けて大野市をPRする取り組みを問うもの、ふるさと納税の返礼品や集まった寄付金の使い道を問うもの、人口減少対策への取り組みを問うもの、天空の城越前大野城や地域特産物を生かして観光客を増やすための方策を問うもの、中部縦貫自動車道への期待感とともに感じる疑問点など、幅広いものでした。

最後に大野市議会、山崎議長が「皆さんの質問からは、大野市や自分たちの地域を愛する気持ちがたくさん伝わってきました。この気持ちを忘れずに、将来もずっとこの結の故郷越前おおのに住み続けていただきたい」と講評を行いました。

なお、子ども議会の会議録は、大野市のホームページで公開しています。



## 編集後記

「ママチャリ」を乗り継いで競う「ゆいチャリde越前おおの」の駅伝に議員有志チームで参加しました。沿道の声援に力をいただき、第2走者として、秋日和の上庄地区を満喫できました。まさにその5日後、9月15日早朝に北朝鮮からミサイルが発射され、北海道沖の太平洋上に落下したのです。日常のすぐ隣にある危機を、強く感じた出来事でした。

災害救助法が適用された大きな自然災害は、昨年だけでなく熊本地震、台風第10号、鳥取県中部地震、新潟県糸魚川市大規模火災と4件に及びます。

有事や災害は他人事ではありません。身を守る情報を得る手段として、市民の皆さまには大野市防災メールに登録していただけることを願っています。

(座長 高田 育昌)

## 議会だより編集委員会

委員 高田 育昌

野村 勝人

廣田 憲徳

宮澤 秀樹

松原 啓治

※次回は、来年1月下旬の発行を予定しています。